



2月15日 東地申第52号

「2022年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ【大崎駅】

提出!!

大崎駅:2月末日をもって出札窓口を閉鎖する施策が示されています。

● 目黒駅

● 五反田駅

● 大崎駅

● 品川駅

- オフィス街としてだけでなく、大学もあり、定期多売期には多くのお客さまが定期券をお求めになっている!

これからすぐの東海道新幹線!  
もう券売機で買えないから!

はいっ!

- 乗り換えも含め、多くのお客さまにご利用いただいている!
- 品川駅隣接のため、直近の新幹線指定席をお求めになるお客さまも!

サービス低下に加えて、大崎営業統括センター  
設置予定駅なのに、出札窓口が閉鎖?  
営業スキルを身に付けるための環境が  
なくなってしまう!

地域に根ざした鉄道の実現と、鉄道も地域も活性化させていく

「変革2027」を実現させるためには、出札窓口を廃止すべきではない!

<申し入れ内容>

1. これまでの大崎駅出札窓口の役割と成果について明らかにすること。
2. 大崎駅において、出札窓口を閉鎖出来る根拠を具体的に示すこと。
3. 繁忙期や定期多売期において、お客さまサービスの強化が図ることが出来る体制とすること。
4. 出札窓口閉鎖について、地域(自治体・学校・企業)やお客さま、周辺駅への周知方法を具体的に示すとともに、会社として責任をもち周知をおこなうこと。
5. 大崎駅の出札窓口が閉鎖以降、窓口をご利用されたいお客さまの増加が見込まれる目黒駅の体制を強化すること。

効率化のみの施策実施には反対! 地本は現場で働く仲間と共に団体交渉に臨みます!